

# 学校だより

明るく 元気に たくましく

平成30年11月29日発行

広島市立広島特別支援学校 校長 中尾 秀行

TEL 082-250-7101

FAX 082-250-7102

E-mail : [yougo-s@e.city.hiroshima.jp](mailto:yougo-s@e.city.hiroshima.jp)

ホームページ : <http://www.hiroshimayogo.edu.city.hiroshima.jp/>

広島県歯科医師会  
広島県歯科衛生連絡協議会  
平成30年度歯と口の健康週間  
関連表彰で  
◇学校歯科保健優良学校  
【優良校】の表彰を受けました。



## □ はじめに

早いもので今年も残すところ後1か月になりました。札幌市で128年ぶりに観測史上最も遅い11月20日に初雪が降り、平年より23日、昨年より28日も遅い便りでした。また、11月上旬に太平洋赤道域東部で水温が高まるエルニーニョ現象が確認されました。これは大気の流れや気圧に影響して世界的な異常気象を引き起こすとされ、日本では暖冬になりやすくなると言われていますが、11月下旬に入り、急に冷え込み始めました。今後は、風邪やインフルエンザ、ノロウイルスに代表される感染性胃腸炎の流行も懸念されるところです。11月の第2週には広島市安佐南区の小学校でインフルエンザによる学級閉鎖が1件報告されています。また、全国的に風疹が大流行の兆しを見せています。30代以降の男性にワクチン接種を受けていない人が多いのが原因で、妊婦が感染すると胎児に難聴や心臓病などを引き起こす恐れがあります。家族だけでなく周囲の人たちも十分な配慮が必要なことです。学校としましては、「ほけんだより」等で様々な情報の発信を行いながら、児童生徒はもちろん教職員も、手洗い、うがい、マスクの着用、必要に応じてワクチン接種の励行等、一層保健指導の徹底に努めてまいります。御家庭でもお子様の健康管理に充分御留意いただきますようお願いいたします。皆様がお元気で、家族そろって今年一年を有意義に締めくくることが出来ますよう心からお祈り申し上げます。

## □ 公開授業研究会 ～第22回視聴覚教育総合全国大会・第69回放送教育研究会全国大会 合同大会（広島大会）～

11月16日（金）17日（土）、第22回視聴覚教育総合全国大会・第69回放送教育研究会全国大会合同大会（広島大会）が広島市で開催されました。16日（金）は川内幼稚園、川内保育園他4園、川内小学校、城山中学校、本校の7会場で「ICTと映像コンテンツを活用した未来型授業の創造」のテーマで公開保育、公開授業を行い、それぞれの校種で研究を深めました。本校の公開授業、研究発表には、東は東京から西は長崎まで全国から157名の方々が来校されました。広島市教育委員会からも指導担当部長 野間 泰臣 様を始め、教職員課服務・健康管理担当課長 徳丸 憲之 様、広島市教育センター次長 長谷川 洋 様他多くの御来賓の方々にご出席を賜りました。

本校は平成28年度から3年間の研究主題を『自立と社会参加を目指した「わかる」「できる」「かかわりあう」を大切に授業づくり』とし、一年次の副題が『「わかる」「できる」日常生活における指導』、二年次は、『「かかわりあう」日常生活における指導』でした。そしてまとめの本年の副題は、『「わかる」「できる」「かかわりあう」日常生活における指導』とし、児童生徒の自立と社会参加を目指し、生活意欲と生活態度を育てるために、環境づくりに視点を当てた日常生活における指導の在り方について研究を重ねてきました。

具体的で明確な目標設定と環境づくり、評価を行うこと、「環境づくり」の二つの柱である「物理的支援環境」と「人的支援環境」を整えること、また、「物理的支援環境」に効果的な視聴覚機器、タブレット端末等のICT機器を効果的に活用することによって、児童生徒が主体的に生き生きとした表情で学習や活動に向かい、進んで役割を果たしたり、相手の思いや言動を考えながら、自分の気持ちや思いを表現したりする児童生徒の姿に、これまでの取組の成果を実感することができました。午後からも、協議会やポスターセッションを通して、自立と社会参加につながる日常生活における指導内容や指導・支援の在り方についての研修を深めることができました。

3年間御指導いただき、本主題の下、「児童生徒の主体的な姿を具体化・明確化した授業づくり～自立と社会参加を目指すために～」と題して御講演をいただいた兵庫教育大学大学院教授 井澤 信三 先生からも児童生徒の主体的な動きを引き出した授業を高く評価していただきました。「今行っている指導や支援が子どもたちの将来の夢や希望につながっていくことが大切である。」と最後に言われた言葉を大切にしたいと思っております。3年間の研究は一区切りですがこれで終わりではありません。「子どもたちの自立と社会参加に向けて適切な指導と必要な支援を行っているのか。」PDCAサイクルで常に振り返りながら、「より良い授業づくり」を更に深めていきます。井澤先生には、3年間遠方より御教示いただき心より感謝申し上げます。

また、本校の授業改善の取組に際しまして、懇切丁寧な御指導・御助言を賜りました畿央大学大学院教育学研究科教授 西端 律子 先生、広島市教育委員会特別支援教育課主任指導主事 戸田 美鈴 先生、堀川 淳子 先生、同指導主事 大久保 誠 先生、金本 裕史 先生、中岡 美穂 先生、広島市教育センター指導主事 西田 由香 先生に厚くお礼申し上げます。誠にありがとうございました。



井澤先生のご講演



協議会（高等部）



ポスターセッション



小学部第2学年2組



小学部第5学年2組



中学部第2学年4組



高等部第1学年10組



職業コース第1学年A・B組

タブレット端末等を活用して友達とかかわりながら主体的に学習に取り組む児童生徒

□ 第25回文化祭



11月9日(金)、10日(土)に第25回文化祭を開催しました。文化祭は、児童生徒がこれまで生活単元学習や作業学習等で学習してきた成果の集大成です。全校児童生徒が文化祭という共通のテーマで、様々な活動に主体的に一生懸命取り組んでいる姿が強く印象に残りました。小学部第1学年から高等部第3学年までの児童生徒がお互いの良さを発見し、思いやりや憧れの気持ちをもったり、共に達成感・満足感を味わったりすることで、将来の自立と社会参加に向けて必要な力を得ることができたのではないかと思います。

今年度は広島市健康福祉局障害福祉部部長 橋場 聡子 様、同障害福祉課課長 秋山 美帆 様、広島市教育委員会特別支援教育課課長補佐 山領 勲 様、本校学校協力者会議委員長 江上 正明 様を始め、非常にたくさんの御来賓や保護者の皆様、卒業生、交流校の児童生徒、地域の皆様、元本校職員の方々など二日間で1,700名を超える来校者がありました。本校に厚い御理解と御支援をいただき、児童生徒の活動を温かく見守り優しく言葉を掛けていただく姿に、改めて多くの人たちに支えられていることを実感し、感謝の気持ちで胸が熱くなりました。今年度も盛会裏に終えることができました。熱くお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

また、受付・駐車場係に御協力いただきましたPTAの皆様にも心より感謝申し上げます。今後も行事のための学習ではなく、学習の成果を行事を通して発表するという視点に立ち、より一層教育内容の充実を図るよう努めてまいります。



迫力と感動のステージ発表  
上から「高3」「中3」「小3」



ゲーム説明をする訪問学級生徒 初めての文化祭で中学部の店を楽しむ小学部第1学年児童と交流校児童 職業コースのでじマーケット

□ 避難訓練(火災) 不審者対応訓練 『みんなで減災』一斉地震防災訓練

10月24日(水)に本校舎玄関と西校舎玄関の2か所から火災が発生したと想定し、避難訓練を行いました。避難訓練は「命を守るための学習」です。火災が発生したときに、様々な情報からいかに迅速に安全な避難経路を判断し、適切な指示・誘導ができるかが非常に大切です。そのためには訓練といえども緊迫感をもって避難訓練に臨むように常に教職員には指示をしています。今回は実際に煙装置を使い、火災現場付近の防火扉や防火シャッターが降りる臨場感ある状況の中での避難で、全教職員、児童生徒は真剣に取り組み、全員が整然と隊列を作って迅速に避難することができていました。避難の後は教職員が水消火器で初期消火訓練を行った後、ポンプ車がグラウンドに入り、迫力ある放水訓練を見学することができ、児童生徒は驚きの表情で見つめていました。実施後の会議では、広島市南消防署安立主査から、「本部で臨場感あふれる適切な指示と動きができていて、それが児童生徒にも伝わり素晴らしい避難訓練ができていた。」と高い評価をいただきました。本校の消防計画に基づく役割分担を年度当初に確認しそれぞれが主体的に動くこと、ある程度情報をまとめて本部に報告することによって、隊長の負担が緩和され、更にスムーズな動きにつながる等の助言をいただきました。次回の避難訓練に生かし、児童生徒がより安全に避難できるよう更に改善を図っていきます。10月31日(水)には、本校に不審者が侵入したと想定し、不審者対応訓練を行いました。教職員は夏季休業中に広島南警察署の方にも来ていただき実地訓練を行っていますが児童生徒と共に行うのは今年度初めてです。不審者の侵入と位置を示す本校独自の暗号放送を聞きながらマニュアルに従って児童生徒を安全に教室等に避難させました。

11月1日(木)には、広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動に参加しました。5月に地震を想定した避難訓練を行いました。地震から命を守るために必要な「しゃがむ・かくれる・まつ」の「安全行動1-2-3」を再度確認しました。今後も更に教職員の危機意識を高め、大切な児童生徒の安全を守るための取組を行っていきます。



「お・か・し・も」  
安全にグラウンドに避難



先生方の水消火器訓練



消防車と一緒に



低く、頭を守り、  
地震が収まるのを待つ生徒

□ 御来校いただいた方々(教育相談での見学は除いています。)

日付	団体名等	人数
11月2日(金)	広島市児童館・放課後児童クラブ指導員研修	35名
11月14日(月)~17日(木)	学校に行こう週間で来校いただいた見学者	15名
11月9日(金)・10日(土)	第25回文化祭	1,747名
11月10日(土)	たてものがたりフェスタ2018	22名
11月15日(木)	高等部第3学年第Ⅲ類型租税教室(公益社団法人南法人会)	7名
11月16日(金)	第22回視聴覚教育総合全国大会・第69回放送教育研究会 全国大会(合同大会)・本校公開授業研究会	157名
11月20日(火)・21日(水)	介護等の体験	70名
11月24日(土)	広島県特別支援学校第2回流通・物流技能検定他校生徒 5名、県教委・市教委4名、他スタッフ24名	33名
11月28日(水)	古田学区民生委員・児童委員協議会の皆様	36名